

誓いの言葉

新たな季節の訪れを感じる今日の良き日に、私たち 1,227 名は山梨大学への入学を許可されました。依然として猛威を振るう新型コロナウイルスの波乱に絶えず対応し続け、私たちの入学までの道のりをサポートしてくださった高校の先生方や家族、またコロナに立ち向かい奮闘する医療従事者など全ての方々に、心より感謝を申し上げます。

予測困難な情勢の中、厳しい受験を乗り越えた私たちがいま立っているこの場所は、ゴールではなく、出発点となります。期待と不安が入り混じる気持ちではありますが、新たな生活を迎える決意をし、大学における学業や学業以外の活動に主体的に取り組んでいきたいと思えます。

さて、大学生活での学びについて考えを巡らせてみますと、私たちが受験期に取り組んだ面接練習や小論文への取り組みを思い出します。自分の人生を振り返り、自分は何をしてきたのか。現代の社会問題に対し、自分はどのような意見を持っているのか。皆さんはどう考えているのでしょうか。恥ずかしながら、私はそういったものに向き合ったことが初めてでした。大学入学共通テストのための知識や技能を身に着けることで完結していた学びが、これからは課題解決能力や論理的思考力を鍛え、実践に応用するための学びへと深化していくのです。4年間の大学生活を通して私たちがこれから行うべき学びとは、社会で生きるための力を獲得するためのものだと思います。それは自分自身が豊かな人生を歩むための力であり、ときに子どもたちを教育で導き、医療で人の生活を支え、産業技術を発展させ、自然との共生を図ることで、他者を助ける力にもなるのです。

本日、山梨大学に入学する我々 1,227 名は、『豊かな人間性と倫理性を備え、広い知識と深い専門性を有して、地域社会・国際社会に貢献できる人材』を目指すという理念のもと、山梨大学で過ごす日々を実りあるものにし、島田学長を始め、先生方や先輩方のご指導を仰ぎ、誠心誠意努めていくことを誓います。

令和4年4月6日

入学生代表 山梨大学 教育学部

学校教育課程 浅田 陽香